

母校創立 100 周年記念事業募金に関する Q&A

2022 年 7 月

清流会東京支部

1. なぜ記念会館を新たに建設することになったのですか？

100 周年にあたり、同窓会として母校のためにできないか、学校側の要望を尋ねたところ、会議用の教室が不足して困っているのを助けてほしいとお話がありました。

現状、母校ではプレゼンテーションやチーム・ディスカッションなど、講義形式ではない授業等も増えて、スペースが不足しているとのことでした。

そこで、同窓会としてなんとかしようということになり、まず現・清流会館をいまの場所で建て替える案が検討されましたが、工事期間中の代替仮施設を学校敷地内に建設するのが難しく、かつ費用も嵩むことなどから、この案は断念されました。

このため、学校に隣接する空き地(現在は同窓生の関連企業が所有)に新たに記念会館を建設することとなりました。なお、現・清流会館は今後も継続利用の予定です。

2. 教室は不足しているのですか？ なぜ県が対応しないのですか？

昔に比べると生徒数は減少しているのですが、デジタル機器を使った少人数でのミーティングなども増えており、教室等のスペースは慢性的に不足しているとのことでした。

また現状、期毎の集会・式典や保護者会等は体育館で開催していますが、空調もなく利便性は高くありません。

学校としても、県に対し、こうした事情を説明し施設拡充の要望はしているのですが、県の予算も限られ、なかなか対応してもらえないのが実情のようです。

このため、同窓会としても出来るだけの協力をしたいと考えるものです。建設予定の記念会館には、1 学年全員が入れる集会室やミーティング用のスペース等を配置します。

竣工後の建物と土地は無償で母校(県)に寄贈し、母校で運営・管理されます。

3. 寄付金目標を3億円としたのはなぜですか？

建設を予定している学校隣接土地の購入費用、および想定する建物の建設費用(設計士による見積額)の概算合計額である3億円を寄付金総額の目標としました。(次頁続く)

このうち建物の建設費用は2億1千万円程度(設計費用を含む)を見込んでいます。

3億円は大きな金額ですが、清流会本部では、総額の半分以上は地元の法人等からの大口の寄付を想定しており、あわせて、同窓生個人からの寄付を幅広く募ります。

4. 今後はどのようなスケジュールですか？

2024年10月26日(土)に創立100周年記念式典を予定しています。それまでに記念会館を竣工させるために、来年2023年1~3月に入札を行って建設会社を決め、工事を発注します。23年4月から工事を開始し、2024年3月の竣工を予定しています。

5. 趣意書に記載のイメージ図どおりの建物ができるのですか？

趣意書に記載したものはあくまでイメージ図です。現時点では、2階建てではなく、1階建てとする方向で検討を進めています。

6. 振込用紙が手許にないのですが、寄付できますか？

もちろん寄付できます。趣意書にも記載のある、下記のゆうちょ銀行の口座あてにATMやインターネットバンキングから振り込みをすることができます。

ゆうちょ銀行 099支店(店番099)
当座預金 0239555 口座名義「創立100周年記念事業実行委員会」

振り込みの際には、氏名に加えて何回生かを入力してください。
(例 カコガワタロウ 33カイ)

また、「清流」が送付されていない方は本部で住所を把握していませんので、お手数ですが、清流会本部事務局 kakohigashiseiryukai@topaz.ocn.ne.jp あてに氏名、回生、寄付金額、住所をメールしてください。控除用の領収書を送付します。領収書の宛名を法人名にすることも可能です(法人の寄付は全額損金扱いです)。なお、振り込み手数料は自己負担となります。

以上